

琵琶湖・瀬田川の水質概況速報(平成 23 年度(2011 年度)第4四半期)

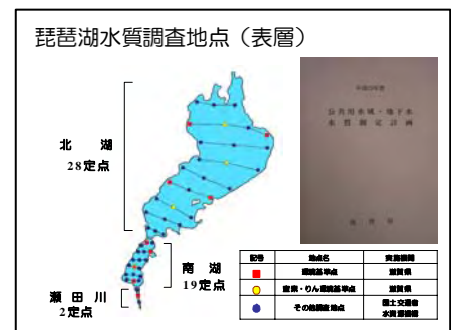
琵琶湖環境科学研究センターでは、水質汚濁防止法第 16 条の規定に基づき作成した公共用水域水質測定計画等に基づき、琵琶湖および瀬田川で採水、水質分析を実施しています。このたび、平成 23 年度第 4 四半期分について水質概況速報がまとまりましたので報告します。

なお、琵琶湖・瀬田川水質は、年間を通した解析により正式な評価を行うため、ここで公開する速報値が、後日、修正を加えられる可能性があることをご了承ください。

◎調査方法について

北湖 28 地点、南湖 19 地点、瀬田川 2 地点の計 49 地点において、国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所、(独)水資源機構および当センターで協力、分担し表層 0.5m での毎月の水質変動を調査しています。

また、琵琶湖の北湖深層部における水深別調査は、当センターでは今津港と長浜港を結ぶ線上のほぼ中央の水深約 90m 地点今津沖中央(通称「17B」)において、月 2 回実施しています。



◎調査結果について

琵琶湖北湖の代表点として 17B、南湖の代表点として唐崎沖中央(6B)のそれぞれの経月変化からみる平成 23 年度第 4 四半期までの水質概況は次のとおりです。

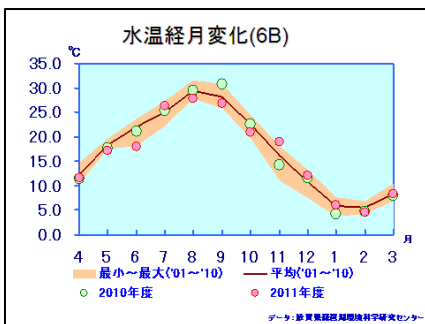
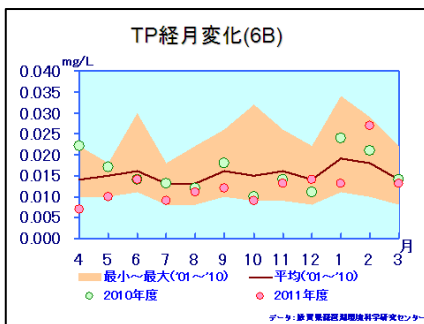
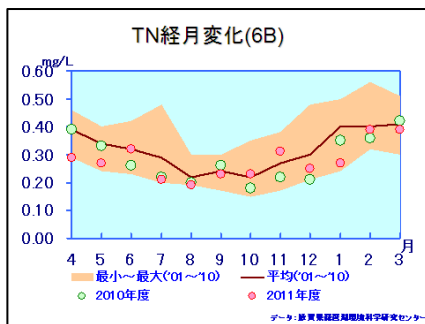
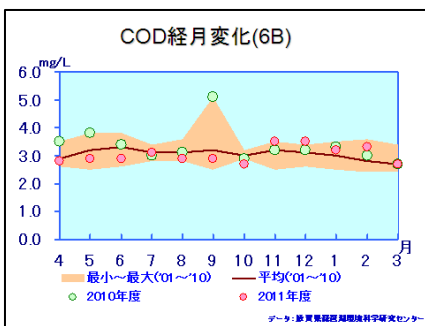
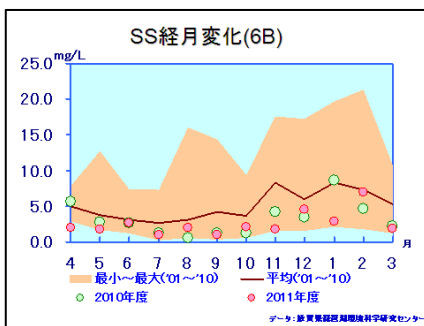
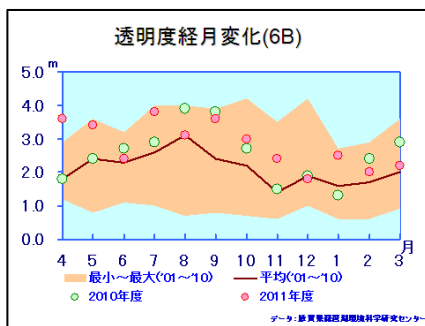
○ 唐崎沖中央調査結果

透明度については、1 月は過年度(過去 10 年間)平均値より高い値で、2 月、3 月は過年度平均値並の値でした。透明度に影響を与える浮遊物質(SS)の推移を見ると、1 月、3 月は過年度平均値より低い値であり、2 月は過年度平均値並の値ですが、今年度最も高い値を示しました。1 月に比べて 2 月は SS が上昇したことにより透明度が悪化したと考えられます。

有機物汚濁の指標である化学的酸素要求量(COD)については、1、2 月は過年度平均値より少し高い値で、3 月は過年度平均値並の値でした。

富栄養化項目である全窒素(TN)は、1 月は過年度平均値より低い値で、2、3 月は過年度平均値並の値でした。全りん(TP)は、1 月は過年度平均値よりも低い値で、2 月は過年度平均値よりかなり高い値を示しました。3 月は過年度平均値並の値でした。

水温は、1 月は過年度平均値並の値でしたが、2 月は過年度平均値よりも低い値であり、3 月は過年度平均値並の値でした。



○ 今津沖中央調査結果

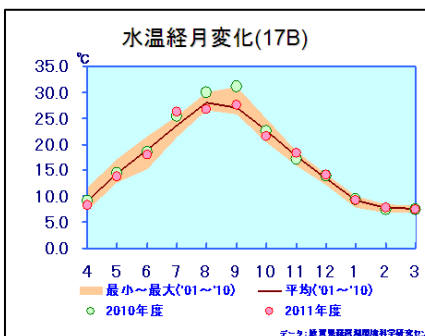
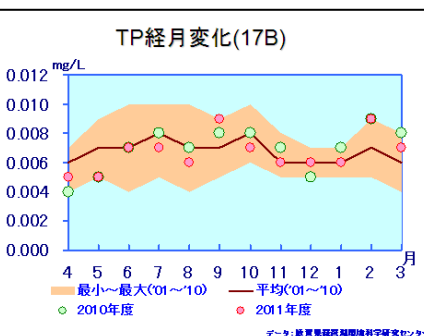
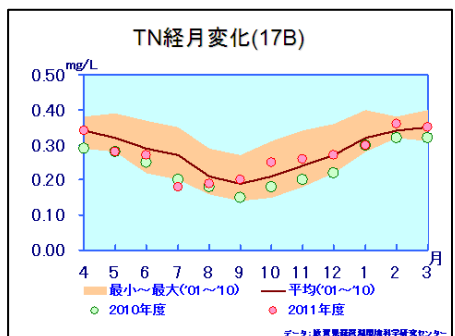
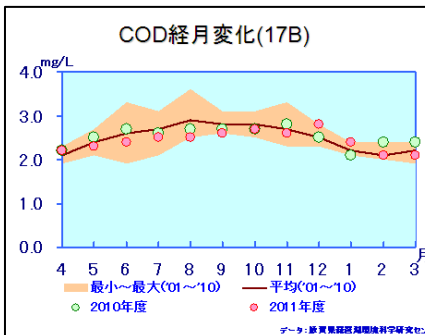
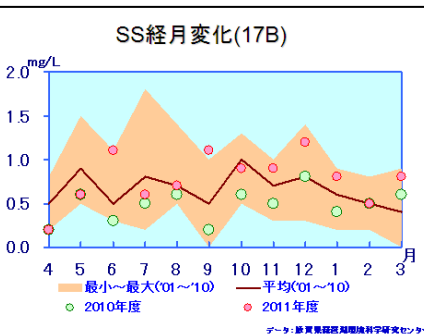
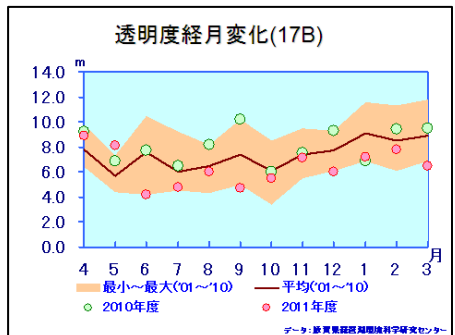
透明度については、1月、2月は過年度より低い値で、3月は過年度最小値より0.4m小さい値でした。SSは1月は過年度より高い値を示しましたが、2月は過年度平均値並の値まで減少しました。3月は過年度より高い値を示し、過年度最高値に近い値であり、SSの上昇が透明度の悪化を引き起こしたと考えられます。

CODについては、1月は過年度平均値より少し高い値であり、2月は過年度平均値並の値、3月は過年度平均値より少し低い値でした。

全窒素は、1月は過年度平均値より低い値であり、2月は過年度平均値より少し高い値に増加しましたが、3月は過年度平均値と同じ値でした。

また、全りんは、1月は過年度平均値並の値で、2月は過年度最大値まで増加しました。3月は過年度平均値よりやや高い値になりました。

水温は、1月から3月は過年度平均値並でした。



《問い合わせ先》

〒520-0022 大津市柳が崎 5-34

滋賀県琵琶湖環境科学センター

環境監視部門 公共用水域担当

TEL:077-526-4255 FAX:077-526-4803

E-mail: dc31400@pref.shiga.lg.jp